

## CQI and IRCA オンライン試験 合理的調整に関する方針

合理的調整とは、試験の際に受講者が試験の際に実質的に不利になるような障害や困難の影響を軽減するための措置のことです。合理的調整の例としては、以下のようなものがあります。

- 試験時間の延長  
例えば、受験者が英語で試験を受ける場合、コースが行われる言語が母国語ではない、または学習障害がある場合、CQIは試験時間を30分延長することができます。
- 試験中の音声読み上げソフトなどの支援提供  
CQIのオンライン試験システムは、NVDAとJAWSスクリーンリーダーソフトウェアをサポートしています。
- 女性のイスラム教徒の受験者への対応  
身分証明書の確認と試験監督の記録を確認するため、女性の試験監督者を手配することができます。
- 試験日程の延長  
例えば、受験者が病気のために30日間の試験期間内に試験を受けることができない場合などに試験日程を延長することができます。

合理的調整は、非合理的であると判断される費用や時間枠を伴う場合、または試験のセキュリティもしくは試験の完全性に影響を与える場合には承認されません。承認がされない理由は、申請された調整が「合理的」ではないと判断されるためです。合理的調整は、同じ試験または類似の試験を受ける他の受験者と比較して、該当の受験者に不当な優位性を与えてはなりません。

コース開始前に、合理的調整の必要性について研修機関に相談する必要があります。合理的調整の理由によっては、研修機関が受験者の要求が有効であることを確認するために、裏付けとなる医学的証拠の提出を求める場合があります。

英語で試験を受ける場合、英語が母国語でないことを理由に試験時間を延長する必要がある場合は、研修機関が受験者の情報をCQIに送付する際にその旨を通知します。その他の合理的調整の要請については、研修機関が「[CQI and IRCAオンライン試験：合理的調整申請フォーム](#)」に記入し、電子メールで [training.japan@irca.org](mailto:training.japan@irca.org) へ添付して送信します。CQIは、合理的調整の申請を確認し、英国の2営業日以内に対処します。CQIは、合理的調整が承認されたか、また、どのような措置がとられたか、研修機関にメールで通知します。その後、研修機関から合理的調整が承認されたか結果が通知されます。

試験時間の延長が要求された場合、SARAS 試験ポータルサイトの受験者用ホームページに表示される試験スケジュールで試験時間が延長されます。延長された時間が表示されない場合は、[training.japan@irca.org](mailto:training.japan@irca.org) までご連絡ください。

合理的調整の要求に対するCQIの判定に不満がある場合は、異議申し立てを行う権利があります（CQI and IRCAオンライン試験：異議申し立て方針を参照）。

CQIは、すべての合理的調整の申請とその判定に関する記録を5年間保存します。

※ 本文書は[英文版](#)が正であり、日本語版は参考として作成されています。これら両言語版の間に齟齬がある場合、英文版の内容が優先されます。